

作成日：2023 年 2 月 7 日

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

喘息発作の全国サーベイランスを介した呼吸器感染症の早期検出と流行把握の研究

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2010年4月1日から2024年3月31日までに、

1. 全国定点施設にて喘息増悪により入院した20歳未満例の患者さん。
2. 全国の日本小児科学会会員施設にて、喘息の急性増悪により人工呼吸管理が必要となった20歳未満の患者さん。

### 2. 研究目的・方法

背景：気管支喘息を持っている患者さんは呼吸器感染症にかかると発作が起きやすくなります。例えば近年しばしば流行するエンテロウイルスD68は喘息発作のみならず、神経の麻痺も誘発します。しかしこれまで、国内外で喘息発作を誘発させる病原体（ウイルスや細菌）が何か、そしてどのような病原体が流行しているのかは調査されていませんでした。

目的：そこで、喘息発作で入院する患者さんを全国でモニタリングして、重症例においては健康保険診療で病原体が見つからなかった場合に多項目の病原体PCR検査を実施する研究を計画しました。国が行っている感染症サーベイランスと連動させることで、呼吸器感染症の流行を迅速、正確に把握し、情報を国内に発信し、治療や予防など対策をとることを目的としています。

### 研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会（現、昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会）承認後、病院長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

喘息発作による入院例の年齢、性別、入院月、人工呼吸管理の有無、集中治療室での治療の有無。

**4. 外部への試料・情報の提供**

本研究は埼玉医科大学を主施設としていますが、以下の研究組織と共同して、定点施設における喘息発作による入院患者さんの年齢、性別、入院月、人工呼吸管理の有無、集中治療室での治療の有無についての情報と定点施設と日本小児アレルギー学会会員施設における人工呼吸管理例における咽頭ぬぐい液と痰からの病原体の検出結果を共有し、研究事務局と日本小児アレルギー学会のホームページにて情報公開します。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 埼玉医科大学総合医療センター小児科 是松聖悟

**6. お問い合わせ先**

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学小児科学講座 氏名： 今井孝成  
住所： 品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8565

研究責任者： 医学部小児科学講座 教授 今井孝成  
研究代表者： 埼玉医科大学総合医療センター小児科 教授 是松聖悟